

五感で感じる 漁業のデザイン

数値・言語化しにくい「感情」

地魚はかあちゃんの意味

11月15日(日)に大洗町漁協魚市場で開かれた、茨城の豊かな海づくり大会「大洗しらす祭り」。大勢の行楽客が訪れ、魚の模擬競りを体験したり、漁師の妻たちで構成された漁協女性部の方々が格安で販売する、シラス干しやホツキ貝の炊き込みご飯、生シラス丼など、まさにいばらきの地魚尽くしのお祭りでした。

漁協女性部の方々は、毎週日曜日になると「大洗町漁協かあちゃんの家」の売り子になります。大洗町漁協魚市場の前では、「いらっしやい、味見してみな〜」と元気な声。大洗を代表するシラス干しはもちろん、アジやホウボウの手作りの干物など、漁師のかあちゃんが作る家庭の味を格安で購入できます。

県内では他にも、漁協直営

店がいくつもあります。ほかには、一般のスーパーや鮮魚店、旅館や飲食店など、県内131店舗のお店が「いばらきの地魚取扱店」として茨城県と茨城沿海地区漁連から認定されています。そのプロモーション企画やデザイン制作に弊社が関わって3年の月日が経ちました。



ヒラメ型
パンフレット

知らない、ということを知ってもらうツール

今年の企画では、これまでのパンフレット、のぼり旗、ステッカーのほかに、ヒラメの形をしたパンフレット、Webサイトのリニューアル、そして、Youtubeの動画を3本制作しました。

茨城県の魚でもあるヒラメ。築地市場では「常磐もの」として評価が高く、魚全体の漁獲も全国第5位。茨城県は農業だけではなく漁業も盛んです。その一方で、実際にスーパーの鮮魚コーナーには茨城県産の魚がどのくらいあるか、みなさんは意

識したことがあるでしょうか？ 私たちは、取材を通じて様々なことを知りました。県内の漁港ごとに獲れる魚や漁獲法が違うこと、旬だと思っていた季節が実はそうでなかったり、何よりも茨城県はたくさん種類の魚が獲れることが驚きでした。

目と耳で味わう地魚

Youtubeの動画CMでは、実際に北茨城の平潟漁港のセリや久慈浜漁港でシラス漁を営む漁師の方などに登場してもらい、できるだけ「浜」の臨場感を表現したいと思えました。これらの動画はYoutubeのサイトで「いばらきの地魚」で検索するとご覧になれます。パンフレットを展示する仕器もオリジナルで製作し、まるで魚が干されているようなイメージで、旅情すら感じられるデザインに仕上がったと思いませんか？

これからは、地方の時代。地域やその商品の独自性が求められる時代です。一方で個人の時代とも言われ、消費者のニーズは一層多様化しています。私たちは、一人ひとりの消費者が何を思い、感じているのかを常に意識することが、良い企画の第一歩だと考えています。

Youtubeのサイトで「いばらきの地魚」で検索↓

映像だから伝えられる感動がある。
映像でなければ伝わらない魅力がある。

デジタルサイネージ

Web・YouTube

店舗・展示ブース設置

低価格映像制作サービス

「広告映像=テレビCM=高コスト」だったイメージを払拭する
新しい低価格映像制作サービスがスタート。

より手軽に映像を導入できるサービスプランをご提供いたします。

もちろん広告プロモーションに特化した本格的な広告映像もお任せ下さい。

●お問い合わせ先

029-221-4813

www.b-mediaworks.com



パンフレット展示専用の仕器